

【6月10日(土)】

【分科会Ⅱ】 9 : 30 ~ 11 : 45

⑨ 高齢精神障害者の支援を考える

司会 : 村居 巖 (愛知医科大学病院) / 東 裕紀 (サンライフたきの里)

- ⑨-1 シングル・システム・デザインによる効果測定
~PTSD (心的外傷後ストレス障害) によるアルコール依存高齢者に対する
EMDR (眼球運動脱感作用・再処理法) の介入~
○青木 正 (社会福祉法人 恒寿会 ホームヘルプサービスセンター恒寿苑)
- ⑨-2 PSWが見た認知症病棟 ~一年間の揺らぎと今後の取り組み~
○後藤綾子 (鈴鹿厚生病院)
- ⑨-3 認知症高齢者の介護家族の抑うつ状態について
○古谷真理子・赤松洋子 (桜ヶ丘記念病院 医療福祉部) 藤澤大介 (桜ヶ丘記念病院 診療部)
- ⑨-4 重度認知症患者デイケアにおける精神保健福祉士の役割について
○増本由美子 (草津病院 重度認知症患者デイケア あじさい)
- ⑨-5 高齢精神障害者世帯の退院支援
○玉腰聡樹・池戸悦子 (桶狭間病院) 小柳久美子 (指定居宅介護支援事業所かなえて) 佐々木純代 (名古屋市社会福祉協議会 緑区介護保険事業所)

⑩ 退院促進支援について

司会 : 伊藤 要 (東春病院) / 小出保廣 (堺市こころの健康センター)

- ⑩-1 デイケア・社会復帰施設等が無い医療機関での長期在院患者退院促進の取り組み
○赤松恵美 (十和田市立中央病院)
- ⑩-2 退院促進支援事業の可能性と今後の課題
~英国の中間ケア (Intermediate Care) を手がかりにして~
○金子 努 (県立広島大学)
- ⑩-3 地域生活支援室の活動について ~「退院支援活動」の取り組み~
○西山美智子 (医療法人社団三愛会 三船病院)



- ⑩-4 退院促進支援事業実施状況アンケート調査の結果
～長期社会的入院者の退院促進のために精神保健福祉士（PSW）は何をすべきか1～
○野路康洋（守谷市保健センター）菱沼信一（宮城県精神医療センター）澤野文彦（沼津中央病院）山田恭子（松沢病院）小野仁彦（船橋北病院）山口多希代（駒木野病院）今野正裕（南埼玉病院）山田麻貴・三橋良子（生田病院）
- ⑩-5 退院促進支援事業アンケート調査結果から見えてきたもの
～長期社会的入院者の退院促進のために精神保健福祉士（PSW）は何をすべきか2～
○菱沼信一（宮城県精神医療センター）野路康洋（守谷市保健センター）澤野文彦（沼津中央病院）山田恭子（松沢病院）小野仁彦（船橋北病院）山口多希代（駒木野病院）今野正裕（南埼玉病院）山田麻貴・三橋良子（生田病院）
- ⑩-6 退院促進支援事業を通じて地域との連携を考える
○駒野敬行（浅香山病院）森 克彦（地域生活支援センターアンダンテ）比良美千代・佐古真紀・山本めぐみ（浅香山病院）

⑪ それぞれの立場から就労支援を考える

司会 : 渥美浩子（NPO法人地域精神保健福祉支援ネットワーク駒来の家）

佐藤三四郎（埼玉県立精神保健福祉センター）

- ⑪-1 グループワークとしての就労準備プログラムの実践 ～プロジェクトJ①～
○木下清美・山崎勢津子・原井香奈（浅香山病院A館デイケア）森 克彦・佐藤美沙子・清水一葉（地域生活支援センターアンダンテ）小塚裕喜・中崎千恵・中尾達美（地域生活訓練施設アンダンテ）
- ⑪-2 グループワークとしての就労準備プログラム ～プロジェクトJの実践②～
○森 克彦・佐藤美沙子・清水一葉（地域生活支援センターアンダンテ）木下清美・原井香奈・山崎勢津子（浅香山病院A館デイケア）小塚裕喜・中崎千恵・中尾達美（地域生活訓練施設アンダンテ）
- ⑪-3 2時間から始める就労支援 ～地域の中小工場と小規模作業所の連携～
○大野亜紀子・安藤里恵子・荒川浩平（小規模通所授産施設萌作業所）岡田和史（金城学院大学人間科学部）長谷川 忍（AJU自立の家）
- ⑪-4 ハートピアきつれ川10年間の歩み
～入所授産施設と障害者能力開発訓練事業の取り組み～
○小野さゆり・加藤宏昭・小林一成（ハートピアきつれ川授産施設）
- ⑪-5 企業における精神保健福祉活動
○田村綾子（日立製作所神奈川工場健康管理センター）



- ⑪-6 当事者がリードする就労支援 ～協働就労支援システムづくりを通して～
○三木良子・廣江 仁・島津屋賢子（就労支援センターMEW）

⑫ 社会復帰施設などの取り組みB

司会 : 樋渡 敏（メンタルヘルスサポートセンター無心寮）

宮部真弥子（医療法人社団和敬会 生活支援センター）

- ⑫-1 実践から見た社会復帰施設と医療機関との適切な距離
～「患者」から「生活者」への移行を支える中で～
○小濱裕美・三浦博幸・山崎尚樹・永井絵理子・伊奈祐香（社会福祉法人愛恵協会 援護寮
あい）
- ⑫-2 生活支援センター山中の実践 ～平成16年度の活動内容を踏まえて～
○蛭川俊紀・大木基史・末崎みゆき（社会福祉法人愛恵協会 生活支援センター山中）
- ⑫-3 保健福祉事務所と地域生活支援センターの共催による家族教室の試み
○雨宮由美（鎌倉市地域生活支援センターとらいむ）星野美保・小池小夜子（鎌倉保健福祉
事務所）長谷川俊雄（愛知県立大学）
- ⑫-4 地域生活支援センターにおけるグループ活動「自分らしさを模索して」
○畑山真一・古東千富・石田香緒里・藤岡政夫（淡路精神障害者生活支援センター）
- ⑫-5 PSWが地域へ発信する循環型啓発普及実践
～サポートセンター西明石における日々の実践と、
3年間実施した市民講座から見えてきた目の付け所～
○青木聖久（日本福祉大学）足立麻子・笠井俊吾・汐口淳子（サポートセンター西明石）

⑬ 養成と卒後教育B

司会 : 長谷川俊雄（愛知県立大学）／木下了丞（麻生飯塚病院）

- ⑬-1 精神保健福祉現場実習における学生の不安と気分の変化
○大西 良・辻丸秀策・大岡由佳・福山裕夫（久留米大学）橋本みきえ（西九州大学）
- ⑬-2 精神保健福祉実習指導におけるグループ学習についての一考察
○安藤寛美・大場義貴・天野 薫（中部学院大学）



- ⑬-3 グループスーパービジョンをより効果的に受けるための課題
～スーパーバイザーの視点から その2～
○森山拓也・村山斉加喜・金本亜紀・野田綾子（復光会総武病院）薬師寺あかり（国立精神・神経センター国府台病院）青木葉子（手賀沼病院）高野小絵子・望月裕子（船橋北病院）日比谷佳織（同和会千葉病院）荒田 寛（龍谷大学）
- ⑬-4 卒後教育としてのスーパーヴィジョンのあり方
～よりよい実践とスーパーヴァイザーの葛藤～
○花澤佳代（北海道医療大学）
- ⑬-5 英国ソーシャルケアワーカー実務規約（G S C C）にみる社会福祉専門職のあり方
～ワーカー編・雇用者編・当事者参加～
○藤原正子（福島学院大学）

⑭ 生活支援からみた権利擁護を考える

司会 : 梅村仁志（社会復帰施設アーム）／富島喜揮（四国学院大学）

- ⑭-1 P S Wからみた、成年後見制度
○都築哲翁・芝田友吾（秋津鴻池病院）
- ⑭-2 公的保証人制度確立に向けた協働 ～中間報告～
○若月奈美・川上信行・吉川知恵・中村好孝・田中洋平（うるおいの里 千草ハイム）
- ⑭-3 精神保健福祉士の専門性と裁量をめぐって ～権利擁護と侵害の関係を考える～
○岩崎 香（順天堂大学）
- ⑭-4 かかわりの中で自己決定の尊重がどのような意味を持つのか
○岡安 努（生活訓練施設まつかぜハイツ）
- ⑭-5 医療機関における金銭、貴重品管理のあり方について
～権利擁護委員会の取り組みから考察する～
○金成 透（鈴木慈光病院）伊藤亜希子（東京武蔵野病院）伊東秀幸（田園調布学園大学）
岩崎 香（順天堂大学）上野容子（東京家政大学）坂本智代枝（大正大学）三澤孝夫・澤恭弘（国立精神・神経センター武蔵病院）中川さゆり（地域生活支援センタープラザ）宮崎まさ江（長野大学）



⑮ 自由演題 B

司会 : 吉田みゆき (同朋大学) / 荒田 寛 (龍谷大学)

- ⑮-1 クライエントの対人関係パターンに介入した事例
○向井智之 (日本福祉教育専門学校)
- ⑮-2 精神保健福祉士の対象者を捉える視点について
～今、改めて生活史把握の必要を問う～
○高山京子 (社会福祉法人 憩の郷 地域生活支援センター キャンパス)
- ⑮-3 精神障害の母をもつ子どもの揺らぎ
○周防美智子 (大津市子ども家庭相談室)
- ⑮-4 わが国における精神障害者社会復帰論の展開
～ソーシャルワークの視点から～ (院外作業その4)
○相川章子 (聖学院大学) 平林恵美 (目白大学)
- ⑮-5 県協会及び支部の組織化プロセスと今後の課題について
～兵庫県精神保健福祉士協会組織運営部の取り組み～
○宮本浩司 (加茂病院) 真鍋祐子 (はなみずき作業所) 太田和美 (東加古川病院) 東 龍太郎 (姫路市保健所) 瀬尾 学 (鎌倉荘)

⑯ 自由演題 C

司会 : 小久保裕美 (東海学園大学) / 木太直人 (財団法人聖マリアンナ会)

- ⑯-1 地域におけるスクールソーシャルワークの試み
～不登校・ひきこもり研究所の活動を通して～
○天野敬子 (不登校・ひきこもり研究所)
- ⑯-2 精神保健福祉ボランティア養成講座参加者の、精神障害者に対する意識の変化について ～講座受講者へのアンケート調査結果を中心に～
○大場義貴 (中部学院大学、NPO法人遠州精神保健福祉をすすめる市民の会)
- ⑯-3 重篤な精神障害がある当事者における「リカヴァリ」の普及 ～手記の分析を中心に～
○東田全央
- ⑯-4 薬物依存症者を抱える家族の回復・全国薬物依存症者家族連合会の取り組み
○林 隆雄 (全国薬物依存症者家族連合会) 雲川伸正・内藤千昭・石上里美 (西山クリニック)
- ⑯-5 シンナー依存症母子の援助 (医療・保健・福祉の連携) をとおして見えてきたもの
○石上里美・雲川伸正・内藤千昭・北本明日香・西永しおり・米澤史子 (西山クリニック)